◎ 事業完了・目標達成	▲ 実現困難
○ 達成に向けて進行・継続中	× 事業未着手
△ 課題が多く遅れあり	□ 新型コロナウイルスの影響

柱立て	施策の方向性	重要業績評価指標 (KPI)				R4実績		結果の考察	担当課
		項目	基準年度	基準値	目標値 (R4)	達成状況			
1 雪に強く住みよいまちづくりの推進	1 効率的な除排雪の推進	1 雪対策全般について満足に感じている人の割合 (H24市民満足度調査)	H24	28.8%	50%	23% (R1実績)	○	指標がまちづくり総合計画の基本計画改定に向けたアンケート (市民満足度調査含む) によるもののため、直近の実績は令和元年度となっている。次回は、まちづくり総合計画の計画改定に向けたアンケート調査で確認する。	地域振興課
	2 雪処理施設の確保	なし							
	3 雪害防止対策の充実	2 空き家の除去費用に対する補助金交付による解体件数 (H26からの累計)	H28	累計7件	累計25件	13件 (累計51件)	◎	予算の拡充や補助金制度の周知により、目標値を大幅に達成できた。	建築住宅課
		3 空き家バンク登録件数 (累計)	H28	累計0件	累計75件	11件 (累計62件)	○	広報やHP、納税通知書へのチラシの同封等で制度の周知を行い、目標に近い値を達成できた。ただし、空き家バンクの登録件数については、雪対策との関連が薄いため、中間見直しの際には項目の削除を検討する。	建築住宅課
	4 安全な道路交通の確保	4 通学路の危険箇所調査の実施回数	H28	1回	2回	2回	◎	目標通り実施できた。	学校教育課
		5 通学路合同安全点検年間実施回数	H28	2回	2回	2回	◎	目標通り実施できた。	学校教育課
5 安全な雪下ろし作業及び除雪作業の普及促進	6 雪による死亡事故発生件数	H28	2件	0件	0件	◎	広報等で安全な雪処理方法を周知したことにより目標を達成できた。	防災危機管理課	
2 高齢者・障がい者が冬期間安心して生活できる体制づくり	1 高齢者・障がい者の支援の充実	7 冬期間に不安を感じる高齢者の割合 (雪対策に関するアンケート)	H28	25.3%	20%	22.7%	○	前回のアンケート時に比べ若干数値は改善しているが、除雪や雪下ろしにおいては慢性的な担い手不足が課題である。	高齢福祉課
		8 除雪等の支援を必要としている障がい者の割合 (障がい者アンケート)	H28	32%	15%	32%	△	障がい者及び地域の方々の高齢化が進み、除雪を必要とする障がい者の割合も今後増加すると予想され、目標達成には至らなかった。	社会福祉課
	2 健康づくりの推進	9 介護予防教室の委託事業者数	H29	40箇所	45箇所	25箇所	□	コロナ禍による行動制限により、受託事業所の拡大に至らなかった。後期は参加者数を指標とし、参加者拡大に取り組む。	高齢福祉課
		10 いきいき100歳体操実施箇所数 (週1回の住民主体の通いの場)	H29	20箇所	100箇所	33箇所	□	コロナ禍による行動制限により、新規立ち上げ数の増加につなげることが困難であった。後期は通いの場への参加者数を指標とし、参加者拡大に取り組む。	高齢福祉課
3 市民協働による雪処理の体制づくり	1 地域除排雪体制の充実	11 除排雪協力会の組織数	H28	470団体	487団体	508団体	◎	除雪説明会や広報などによるPRにより8団体の新規登録があり、合計508団体の登録実績となり目標を達成した。	土木課
	2 雪処理の担い手の確保	12 除雪ボランティアの登録者数 (実人数)	H28	116人	176人	244人	◎	個人、企業、学校の登録により目標を達成できた。	社会福祉課
4 豪雪時・豪雪災害時における対策の充実	1 豪雪時・豪雪災害時の体制と対応の充実	なし							
5 親雪・利雪・学雪の推進	1 雪を利用した観光振興	13 上衫雪灯籠まつりの入込み客数	H28	85,000人	199,000人	101,000人	□	コロナ禍以前の入込客数に徐々に回復しつつあり、6割以上まで戻ってきている。	観光課
		14 スキー場の入込み客数	H28	83,644人	90,000人	69,700人	□	コロナ禍と降雪量が少なかったことにより入込客数は例年よりやや少なめであるが、徐々に回復傾向となっている。	観光課
	2 雪氷熱エネルギー等の調査研究	15 揚水によらない地下水熱を利用する融雪施設数	H28	0箇所	2箇所	0箇所	▲	平成28年度から29年度にかけて、米沢地区地下水利用対策協議会と共同で、地下水の揚水によらない融雪システムの実用化に向けての実証実験を行った。実験の範囲では一定の融雪効果が出たものの、不凍液の漏れ、部分的な溶け残り等、製品化に際して設備面、コスト面の課題があり、研究成果の実用化は困難であると判断され、実験は休止となった。	環境生活課
	3 雪に親しむ教育活動の推進	なし							
	4 雪に親しむ地域活動の推進	16 雪に親しむことをテーマとした交流活動の参加者数	H28	5,685人	5,970人 (5%増)	1,666人	□	新型コロナウイルス感染対策のため事業縮小した影響あり。	コミュニティ推進課
17 やまがた雪文化マイスター制度を活用した事業実施件数		H28	0件	1件	0件	□	新型コロナウイルス感染対策のため事業実施できなかった。	コミュニティ推進課	
5 雪国文化の継承・発信	なし								